

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 8 回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 雄志中学校生徒との意見交換会の振り返り（公開）

(2) 町内会長との意見交換会の振り返り（公開）

(3) 自主的審議について（公開）

3 開催日時

平成 29 年 12 月 19 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時まで

4 開催場所

津有地区公民館 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：江平幸雄、太田政雄、塩坪貞雄（副会長）、清水昇一、中嶋博
服部香代子、古川昭作、保坂和彦、丸山常夫、宮越隆一、山菅節子
吉崎則夫（会長）、渡部稔（欠席 1 人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

【吉崎会長】

- ・ 挨拶

【田中主事】

- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務める

ことを報告

【吉崎会長】

・会議録の確認者：中嶋委員

議題「(1) 雄志中学校生徒との意見交換会の振り返り」に入る。生徒との意見交換会や3地区合同の意見交換会を行った感想を委員に求める。

【保坂委員】

中学生の発表は何年か続いているが、青少年育成会議の大人と一緒にやることは、大事だと思う。中学生の活動がもう少し地域に浸透していけばよいと思い、大人の自分たちも何かやらなければいけないと思った。

【清水委員】

私のグループは青少年育成会議の事務局長と男子生徒が3人だったが、清掃活動のような、人があまりやりたがらないところを一生懸命にやってくれている。地域のクリーン作戦なので、これからも活動を進めていただきたいと思った。

【丸山委員】

生徒が作った「ゴミを捨てるな」という看板等を各町内に配るなど、積極的な活動をしたらどうかと意見を言ったが、他の委員から「看板を立ててよい場所と悪い場所があり、やたら立てても仕方ない。」という意見も出た。大きい道路には、あまりゴミはないが、農免道路や農道には、ゴミが捨てられているので、そういった場所だけでも看板を立てれたらよいと話した。

また、グリーンラインの話もしたが知らない方もいた。今後、そういった話も各地区の協議会で進めていけばよいと思った。

【江平委員】

中学生は、「きれいな町づくり」という活動をしているが、子供のころから意識して活動していると、大人になっても習慣づくため、非常に良いと思う。

【吉崎会長】

では、雄志中学校生徒との意見交換会は、今年を一区切りにするという話があったが、来年度以降も継続して開催するかについて、委員に意見を求める。

【古川委員】

中学生との意見交換会は良かったと思う。中学生だけの話ではなく、小学生の意見を聞くこともよいと思う。

【中嶋委員】

欠席したが、中学生との意見交換会は1年に1度だけなので、継続して生徒の意見を聞くことがよいと思う。平成町の公園にゴミ捨て禁止の標語が出ており、良いことだと思うが、看板は1年持たずにゴミになると思う。ただ、自分の住んでいるところを綺麗にしようという気持ちがあるのでよいと思う。

【渡部委員】

続けてやっていければよいと思う。中学生の活動でフォトコンテストがあり、それぞれの地区の良い所を中学生の目線でまとめ、それを小学校の文化祭に展示したとのことである。また、小学生の意見も聞いていければよいと思う。

【吉崎会長】

それでは、来年度以降も雄志中学校生徒との意見交換会を継続して行うことでよいか。

(「はい」の声)

それでは、諏訪区、高土区の協議会委員とも調整していただき、来年度以降も行う。中学生との意見交換会の後に、3区協議会委員の合同の意見交換会が行われたが、もう少し回数を増やしたほうがよいのではないかとの意見があったため、委員に求める。

【太田委員】

意見交換は有意義だと思うため、複数回やってもよいと思う。地域活動支援事業で3区にまたがる提案もある。

【服部委員】

悩んでいることは他区の委員も同じことが多いのだなと感じた。空き家や少子化問題、協議会の任期が長いという意見があり、それに対する答えはなかなか出ないと思うが、話し合うことで課題を共有できると思う。中学生に各地区の良いところや広めたいところ、改善したいところ等を地域協議会委員に出してもらえば、協議会委員との意見交換もよくなると思う。

【山菅委員】

いろいろな話をさせていただき、勉強になった。

【吉崎会長】

3区の協議会の意見交換会は複数回行うと、皆さんにも負担がかかるため、他の区とも相談する必要があるが、複数回行うことを念頭に置いて来年度は開催したいと思う。

回数に関しては2回なのか3回なのかは、これからの調整次第だが、最低1回は中学生との意見交換と3区合同での意見交換を行いたいと思う。それでよいか。

(「はい」の声)

【丸山委員】

地域活動支援事業の3区にまたがる提案に関して、今は補助申請額が3等分されてるが、津有区は配分額が一番多いので、津有区に多く負担してもらったらよいのではないかという意見もあったので、考える必要があるかもしれない。

【吉崎会長】

そういったことも含めて意見交換ができればよいと思う。

【保坂委員】

諏訪区の会長は、配分額は違うが、住民1人あたりで換算した場合、人口が少ないところが1人あたりの配分額が多いのではないかと話し、補助額については、一概には言えないという雰囲気になった。

【吉崎会長】

今の話は、どちらが正しいとは言えない話なのだが、データの的にどうかということを見せてもらえば、3区とも納得できるのではないか。事務局でも数字の準備を願う。

【事務局】

了解した。

【丸山委員】

私のグループでは、ただ単純に補助額の問題が出ただけである。

【保坂委員】

そういう考えを持っている人がいるということである。

【吉崎会長】

3区が納得できるかたちになったほうがよいので、データを活用したらよいと思う。来年度以降の3区の意見交換会は1回以上の開催というかたちで事務局に調整取っていただくので、よろしく願います。

次に「(2) 町内会長との意見交換会の振り返り」について事務局に説明を求める。

【田中主事】

・資料No.1により説明

【吉崎会長】

事務局にお願いだが、テーマが多かった割には意見交換の時間が短く、盛り上がってきたところで終わりになってしまった。もう少し時間が欲しかったので、来年度は検討していただきたい。

【事務局】

了解した

【太田委員】

これも事務局へのお願いだが、グループ同士が近くて、隣のグループの声が聞こえすぎたので、部屋を分けるなどしてもらいたい。また、時間配分が足りなかったのも、次のテーマにいけなかった。テーマごとに時間を配分し、進行するなど工夫が必要だと思った。

【事務局】

了解した。

【宮越委員】

意見交換会というよりは、意見を言いつばなしの会になっていた。お互い好きなことを言っているだけで、さてどうするのかという議論がなされていないため、まとまりがない。言いたい人の意見を全部出してもらいたいということでのいいのか。また、何か方向性を設けるのか。

【服部委員】

今回は町内会長だけだったが、次からは活動団体なども入れてほしいと思う。なぜならば、町内会長さんも自分で提案を持ってくる人ばかりではないので、活動団体が入ると、何が大切で何を提案したらよいか、見えてくるのではないかと思う。町内会長さんと協議会委員だけだと、宮越委員の言われたように、意見を言うだけで、あとは市が悪いんだという話になる。

【塩坪副会長】

2年目になるが、同じようなテーマでやっているのも、堂々巡りになっているのである。宮越委員の言われたように、問題が大きいので結論が出てきそうもなく、町内会だけでは考えられないようなことが多い。年を取ると頭が固くなってくるので、若い人でも入れて話すれば、また違う話も出てくるかもしれない。対象を見直して、若い人も対象にしてやったほうがよいのではないかと思う。

【保坂委員】

確かに課題が大きく、少子高齢化や空き家もそうだが、問題が大きいのということは、行政も考えているはずである。空き家についても条例ができています。私は何も知らないため、市の施策について、説明してくれる人を講師に呼んで、町内会長と協議会委員が一緒になって勉強し、その後に意見交換を行えばよい。

【渡部委員】

皆さん言われたように、町内会長さんは高齢の方が多く、若い人の意見も聞いてみたいという意見もあった。私は、活動団体との意見交換は欠席だったが、皆さんの話を聞いていると、よい話を聞けたという印象なので、そういう方を意見交換に入れていったほうがよいと思う。

【吉崎会長】

意見交換会で結論を出すべきなのか、意見として承っておくのかは、今後、検討していく。

【中嶋委員】

テーマ3の「地域コミュニティの維持について」だが、引っ張っていくリーダーの適任者を選び、勉強代等のお金を補助してでも活躍していただく方法も必要だと思う。自分でやる気を出してやる方が少ないので、地域協議会の中から予算を捻出して、地域のために頑張ってもらいたいことも必要だと思う。

【吉崎会長】

今回のテーマは、地域の現状や課題等に関する意見交換の概要だが、今年の町内会長との意見交換会の中で残っている3つということである。これが、自主的審議につながっていくものだと考えている。内容的には、自主的審議から最終的な結論を出していくことにはなるが、地域でどうやってリーダーを育てるかについても地域づくり協議会等と相談しながら決めていく。もしくは市に要望していくというところに出てきてもよいと思う。地域協議会自体に予算はないので、ここではできないが、地域のなかで支援していくことができれば、実現は可能だと思う。他に意見がなければ、「町内会長協議会との意見交換会」については終了する。

次に「(3) 自主的審議について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

・資料No.2、No.3により説明

【吉崎会長】

それでは、自主的審議に入る。資料No.3に関しては地域協議会会長会議のときの資料で、ほとんどの地域協議会で自主的審議のテーマが決まっている。あと7区が検討中なのだが、その中に津有区も入っており、自主的審議のテーマを決めなければいけないと思っている。

昨年の町内会長との意見交換会で残っている意見が、先ほどの3つになるが、その中から自主的審議について決めていければよいと思う。何か意見があれば発言願う。

【太田委員】

3つのテーマがあるが、「少子高齢化」から「空き家問題」や「地域コミュニティの維持」に繋がるため、テーマは「少子高齢化」がよいのではないかと。

【清水委員】

「少子高齢化」は地域で解決するには難しく、すぐに解決できるような問題ではないため、実現しにくい。実現するための設備の整備等の具体的な方向にしないと、効果が目に見えてこないのではないかと。

【保坂委員】

1番重要なのは「少子高齢化」だと思う。「少子高齢化」から少し絞ったかたちのテーマがあればよい。資料No.3にある「諏訪区内への移住促進策について」というのなどは、そういう組織が立ち上がってくるのかなという気もしなくもない。

【服部委員】

この3つのテーマは大きすぎるし、他の区のテーマを見ると具体的なテーマになっているので、審議テーマを具体的にしないといけない。

【田中主事】

大きなテーマとして3つ挙がっているが、要点を絞ってテーマにする方法もある。例えば、「少子高齢化」に焦点を絞るのであれば、子育て世代や高齢者サロンの利用者から何が1番問題になっているかを聞き、その課題を地域協議会で整理することもできる。3つのテーマのままでは、協議の方向性が分散する恐れがあるため、テーマを絞ってから協議をしていくことも視野に入れて協議願う。

【中嶋委員】

あまり目標が大きすぎても、まとまらないで終わってしまう。「少子高齢化」であれば、順々に要点を絞り、課題解決の方向に持っていくしかないと思う。少子化については、若い人の子育て世代等から意見を聞いて、何か課題等を見つけていけばよいと

思う。

【丸山委員】

「少子高齢化」について、話を掘り下げていけばよいというが、自分自身はどんなふうに掘り下げていって、どんな話になるのか、分からない。これから皆さんと話し合っていけばよいのだが、少し難しいと思う。

【吉崎会長】

今日は、大きな3つのテーマから掘り下げていくとか、もしくはいくつか、1つか2つにまとめるかというところを、ある程度決めておけたらよいと思う。今日決めないと3つのテーマのまま方向性が絞りにくいので、テーマを絞っていくことにするがよいか。

(「はい」の声)

それでは、3つのテーマについて、1つに絞ったほうがよいと思う人は挙手願う。

(過半数挙手)

それでは、1つに絞っていくことにするので、テーマについても決を採る。

テーマ1の「少子高齢化」がよいと思う委員は挙手願う。

(過半数挙手)

それでは、テーマは「少子高齢化」に絞ることにする。今回は、自主的審議の大きなテーマとして「少子高齢化」について津有区地域協議会として選ぶことにしたが、それでよいか。

(「はい」の声)

これからテーマを掘り下げていくのだが、津有区地域協議会として最終的な結論まで出していきたいと思っているので、ご協力をよろしく願います。また、テーマが大きすぎて絞れないとの意見もあったので、子育て世代や高齢者からの意見を聞いて、実際に困っていることを協議していきたいと思う。やり方としては、そのようなかたちでよいか。

(「はい」の声)

次に「その他」について、事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・次回の協議会について説明

【吉崎会長】

- ・次回の協議会：1月25日（木）午後6時30分から津有地区公民館

自主的審議については、否定をするのではなく、こうしたら上手くいくのではないかということを見つけ出して、できる方法を考えていきたいと思っているので、協力をお願いします。

その他、意見や質問等はあるか。

【服部委員】

地域の現状はよいのだが、地域活動支援事業の来年度の方針について、北部と南部の備品のこともあるのだが、どうするのか。

【田中主事】

次回の協議会で平成30年度の地域活動支援事業の採択方針等を決めていく予定である。活動団体や町内会長さんとの意見交換会の意見も参考にして、決めていただきたいと思う。また、例年3月に地域活動支援事業の事前説明会を行っており、次回の協議会で日程を決めたいと思っている。

【吉崎会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。